

5 / 10 開催 柏崎市民説明会における発言・アンケートの概要

会場でいただいた意見・アンケートについて、主な意見をまとめたもので、同じような意見は一つにまとめてあります。

会場

(1) 評価基準

- ・ 評価基準についてもう少し詳しく教えてほしい。また、それは号機毎に違うのか。

(2) 地盤、地層

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所全体の地盤が心配だ。
- ・ 6号機のように、岩盤と人工岩盤とで強度が違うところに1つの建築物を建てても安全なのか。
- ・ 原子力発電所を建てる際、一般住宅の時と同じように地盤改良が施されていると思うが、どのような地盤改良を実施したのか開示してほしい。
- ・ 基礎地盤の支持性について、その基準や単位はどのようなものを使っているのか。
- ・ 更なる地震に耐えうる地盤なのか。

(3) 耐震安全性・設備健全性

- ・ 建屋のコンクリート強度の評価について、設計強度ではなく実強度を採用した根拠は。
- ・ コンクリート強度調査のためのサンプルの採取方法に問題があるのではないか。
- ・ 他社のコンクリート強度の評価と同じように、設計強度でも評価しなければ、安全・安心は得られないのではないか。
- ・ コンクリートのテストピースの採用箇所が少なすぎる。
- ・ ひび割れたコンクリートの補修にエポキシ樹脂を注入することで対応するとのことだが、どうやってやるのか。また、それで強度は回復するのか。
- ・ 設計基準強度の問題やエポキシ樹脂補修の問題について、今日の説明会では納得できない。
- ・ 基礎の下の補修をできないところはどうするのか。
- ・ 基礎部分にもひびが入っているのではないか。そこに応力が集中して破断が生じるのでは。
- ・ 見える部分は補修しても、見えないところは補修できていないのでは。
- ・ エポキシ樹脂注入補修ができないところは、そこから空気などが入って鉄筋が酸化し強度が低下するのではないか。
- ・ ヘアクラック程度のひび割れは、エポキシ樹脂注入ができないのでは。
- ・ 幅が1mm以下のひび割れは構造上問題ないとの説明であるが、それが無数に発生した場合はどうなるのか。
- ・ 目視による点検だけでは限界があるのではないか。きちんとしてほしい。

(1) 運転再開

- ・ 科学的、技術的な安全確認がされているのだから早期に 1 号機の運転を再開して欲しいと思う。
- ・ 1 号機についても、本日の説明で特に問題は感じられないので速やかな起動試験の実施も妥当と考えます。
- ・ 安全・健全であれば早期に営業運転を願いたい。説明会は総合的に参考になった。
- ・ 発電所が全号機再開しないことには柏崎の復興は成立しない。働く場、購買、税金然り、市民大多数の生活がかかっている。一刻も早い起動を。

(2) 耐震安全性・設備健全性

- ・ 地下基礎部分のひびをどのように調査し、補修するのかきちんとした回答が欲しい。
- ・ 1 号機について細かく丁寧に点検・調整したことがわかった。
- ・ 耐震安全性についても十分に保たれていることが理解できた。
- ・ ひびが発生すれば、耐久性が劣っていると思って質問している。コンクリートの耐久性のモデルで説明すべき。
- ・ 1 号機建物の「ひび割れ」問題が心配。次から次に心配事が増える現状に、安心できるのだろうか。
- ・ 基礎工事は震度又はマグニチュードで設定されているのか。
- ・ 耐震安全性、設備健全性は十分に確保されたものと考えます。復旧については、莫大な経費がかかっていると思いますが、関係者の努力と誠意に敬意を表します。
- ・ 本当の数値を出して欲しい。設計強度と実強度の差があるのは普通の施工なのか。設計と異なる施工しているのか。
- ・ 東京電力から 1 号機のコンクリートのひびの報告をもらうと言うが、いつなのか。コンクリートのひびは大変な問題と思う。
- ・ 1 号機は 4 5 0 近いコンクリートのひびがあったといい非常にびっくりしている。どのような状態なのか調査し説明して欲しい。
- ・ 1 号機のコンクリート強度採取年は中越沖地震以前である。地震でどのようになったのかわからないのではないか。
- ・ エポキシ樹脂の注入で本当に元の強度になるのか。実際に調査したのか。元の強さにならないという業者もいる。
- ・ 基礎の見えないところはどうなっているのか。本当に基礎は問題ないのか。
- ・ 実強度と建設時の強度を示して欲しい。
- ・ コンクリート設計強度も示すべき。
- ・ ひびに対する保安院の考え方は、納得がいかない。次の地震に耐えられるかという大いなる問題だと考える。
- ・ 1 号機のひびの深さを調べていない。5 号機では 4 ヶ所も貫通したひび割れがあった。強度は確保されたというが、耐震壁のひび割れを生じたまま稼働できるとは思えない。当然廃炉すべきだ。

- ・ 配管等の説明が少なかったかなと思う。ひび・割れ・サビなどなかったかを教えてもらいたかった。
- ・ 特に「ひび割れの処理方法」について、保安院の回答が不十分である。

(3) 行政

- ・ 市長は「説明を受けた」と言われたが、答えになっていない。説明を聞いても「説明を受けた」なのか？
- ・ 保安院の説明、回答は自分の言いたいことだけを言っているだけ。建築学会のレベルでは疑問。
- ・ 保安院のすり替え答弁に怒りを覚える。ひび割れした事実と弾性範囲内は矛盾している。
- ・ 保安院は、不都合な質疑応答に答えない姿勢は止めて欲しい。

(4) 安全・安心

- ・ 原発の必要性・重要性は承知しているが、原発の現状と東電の信頼性が気がかり。安心できる原発を望むのみ。
- ・ 急いで復旧するより、1機でも良いから安心できる発電を望む。
- ・ とても保安院に任せておけない。安心安全にはほど遠い。

(5) 説明会

- ・ 説明が専門的すぎる。こんな専門的なことを市民は本当に知りたいと思っているのか？大多数の市民が関心を持っていることに答えて欲しい。
- ・ 時間の使い方をうまくまとめて欲しかった。次回に活かして欲しい。内容はよく理解できた。
- ・ 司会者は、主催者側でも質問の趣旨を仕切れる人を用意すべき。一人の質問が長すぎているし、本質からズレている。
- ・ 会場の表示がわかりにくかった。
- ・ コンクリートのメカニズムも含め、わかりやすく大変丁寧な説明、質疑だったと思う。誠意を感じる説明会でした。
- ・ 質問に対して適切に回答するという点からも、説明者に事業者を入れた方が良い。
- ・ 非常に多くの内容で1回では理解不十分であり、数回必要であろう。
- ・ 司会者がしっかり全体を仕切って多くの質問を受けつけるようすべきで、同じ人が何度も長時間独占するのは疑問。
- ・ 質問に対する回答が専門的で実質的でない。
- ・ 説明に時間がかかり、一部不明確（早口の説明）であったように思う。
- ・ 説明が、ページ数と語尾しか聞こえない。マイクを持ち、説明のしかたに気をつけて欲しい。
- ・ 説明者は専門的なことをすべて把握しているが、住民は1つずつ言葉で理解を得ようと努力している。

- ・ 素人には質問の主旨を確認しながら回答したほうがわかりやすい。専門用語が多く、提示されているデータは理解不能である。
- ・ 市民説明であるから、市民に理解しやすい説明を更に努力すべきである。質問時間を制限したほうが良い。(たとえば3分程度)
- ・ 説明会はいつもと同じで別の方法を考えたほうが良いと思う。
- ・ いつまでも「市民感情」や「素人の疑問」というのはおかしい。もっと建設的な討論を期待。

(6) その他

- ・ 反対派の人たちは、100%以上の不必要な安全を求めていると感じた。
- ・ 反対派の人だろうと思うが、個人の意見を「住民は～、市民は～」不安であるという意見の言い方が疑問を抱いた。聞いていて不快感が残った。
- ・ 「市民」という言葉に名を借りた一方的な発言は、市民として恥ずかしい。
- ・ 一部の声の大きい人たちの意見を「民意」と誤解しないようにお願いします。
- ・ 6、7号機の営業運転の実績から、国及び事業者の評価は妥当であることが実証されたと判断します。
- ・ 動かすことを目的とした電力の調査、動かしたい保安院の評価は信用できない。
- ・ 廃炉にしてもらいたい。
- ・ 質問者の質問内容には根拠がない。納得できない。
- ・ 推進派ですが今日のような反対派の場であれば次回は参加を控えたい。